

名屋地区津波避難タワー完成

平成30年12月28日、名屋ちびっこ広場に建設していた津波避難タワーが完成しました。

タワーの構造は鉄骨造りで、避難階の高さは10メートル、有効避難面積は219.9㎡、想定避難者数の370人が一時避難できる面積となっています。これにより名屋地区の津波避難困難地域(※)が解消となります。

【タワー概要】

- 所在地：御坊市名屋町1丁目14番地3
- 構造：鉄骨造
- 避難想定者数：370人
- 有効避難面積：219.9㎡
- 想定浸水深：6.9m
- 避難階高さ：10m

【主な設備】

- 屋根部分に可動式テント
- 防災ボックス20台
- ソーラー式照明
- 地震開錠ボックス

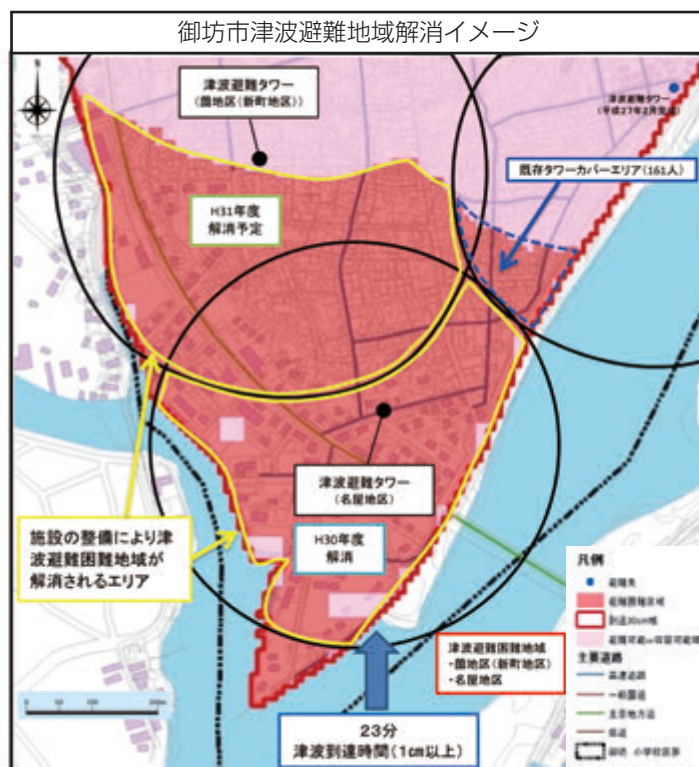


※津波避難困難地域とは

津波到達時間、避難開始時間、移動速度等の一定の条件に基づき、地域単位で避難先までの経路と距離を詳細に考慮し、津波到達時間までに浸水区域外の高台や津波避難ビル等に避難することが困難な地域を津波避難困難地域として抽出しています。御坊市では、右図の赤色で示している名屋地区と藺地区の一部が南海トラフ巨大地震想定による津波避難困難地域となっています。

《御坊市の取組》

御坊市では、津波避難困難地域解消事業として、津波避難タワーを2基建設する計画で、事業を進めています。1基目の名屋地区津波避難タワーが完成したことにより名屋地区の津波避難困難地域が解消になりました。残る藺地区（新町地区）の津波避難困難地域についても、平成31年度中に津波避難タワーが完成する予定で、完成をもって御坊市の津波避難困難地域は解消することになります。



名屋地区津波避難タワー竣工式

平成31年1月19日には、竣工式を執り行いました。

式典後には津波避難タワーを開放し、多くの地域住民が津波避難タワーに登り、設備等を確認しました。